

イクメンパパ講座を開催しました

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」での子育て中の男性向けセミナーの一例

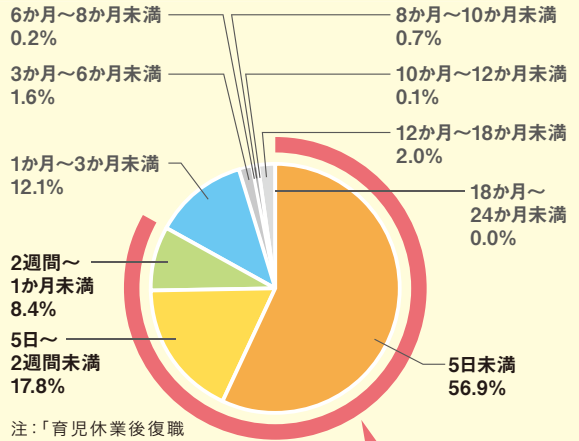
～わくわく親子遊びとスマホ撮影術～

- **日時:**平成28年12月4日・18日 10:00～11:30
- **対象:**1～3歳のお子さんと大田区在住・在勤・在学の男性の保護者
- **内容:**子どもが好きな手遊びや、スマホ撮影術をプロから学び、受講者同士が育児の状況やワーク・ライフ・バランスについて、情報を共有しました。



平成29年度も男性の保護者とお子さんが一緒に参加できるセミナーを開催予定です。詳しくは8ページ「エセナおおたからのお知らせ」をご確認ください。

平成27年度職場復帰した男性の育児休業取得期間



注:「育児休業後復職者」は、調査前年度1年間に育児休業を終了、復職した者をいう。

1か月未満 **83.1%**

厚生労働省「平成27年度 雇用均等基本調査」(2015年)

平成29年1月に施行された改正育児・介護休業法をはじめとして、男性の育児参画を応援する様々な制度があります。例えば、改正育児・介護休業法で変更された「子の看護休暇」の制度。それまで1日単位でしか取得できなかった看護休暇が、半日単位で取得できるようになりました。

また、育児休業期間を延長できる「パパ・ママ育休プラス」という制度もあります。夫婦ともに育児休業を取得することで、1年である育児休業期間を

様々な制度がイクメンを後押し!

⑤ **自分自身の成長!**
何よりも、育児・家事という新しい経験は男性自身の成長のきっかけになります。

が視野を広げ、仕事で使えるアイデアの幅が広がります。

④ **より良い家族関係!**
子どもへの関心が強くなることはもちろん、育児中の妻の気持ちを理解できるようになります。これにより、夫婦関係が一層円滑になり、家族の絆が強まります。

夫婦で話し合う時間を確保し、家庭における役割分担などを相談することで、男性も積極的に子育てに関わりやすい雰囲気をつくりあげることができます。

子育てをもっと楽しもう!

一生のうちの限られた期間しか経験できない子育て。自身自身を成長させ、家族の大切さを再確認させてくれる貴重な機会です。自ら進んで子育てに関わり、家族との深い関係を築いてみませんか?

さらに2か月延長することができます。育児休業の取得は、仕事と育児の両立を考えるきっかけにもなります。

夫婦で協力するときに大切なこと

男性が子育てに関わるためには、職場の理解はもちろん、パートナーの理解がとても重要になります。家事や子育てに慣れていない男性は、最初は上手くできないことや戸惑うことも多いかもしれませんが、夫婦で協力して取り組むことで、時間をお互いに譲り合うことも必要です。

パステル おすすめ本

一流の男が「育児」から学んでいる5つのビジネススキル
著者: 嶋津良智 発行: KADOKAWA

内容: 男性が消極的になりがちな「育児」に積極的になると、実はたくさんの「学び」があります。「育児」と「仕事」を結び、あたらしい働き方を示す一冊です。

▶ エセナおおたの図書コーナーにて貸出しています。

イクメンプロジェクト

イクメンプロジェクトとは、働く男性がより積極的に育児に参加することができるよう、社会を動かしていくことを目的とした厚生労働省のプロジェクトです。育児をすることは、男性自身だけでなく、家族、会社、社会に対しても良い影響を与えていると言われています。イクメンを社会全体で支えるための環境づくりに、あなたも参加してみませんか?

イクメンプロジェクト
<http://ikumen-project.mhlw.go.jp/>

育てる男が、家族を支える。社会が動く。